

3 安心・安全な暮らしづくり

(8) 高病原性鳥インフルエンザ対策

国への提案事項

1 発生予防

- 鳥インフルエンザの発生件数が年によって違うことや、世界のワクチンの使用状況とその有効性及び国においての使用に対する検討状況を踏まえ、世界の最先端の対策・情報を収集し、より効果的な発生予防対策を示すこと。

2 迅速な防疫措置

- 全国的に鳥インフルエンザ等の発生が増えていく中で、防疫措置を迅速に終了出来るよう国において広大な埋却地を確保することや、ブロックごとに焼却施設を建設することなど処理方法の在り方について検討すること。

3 財政支援

- 鳥インフルエンザ発生による経済的ダメージを小さくするため、大規模発生においては激甚災害のように補助率を高めるなど拡充を検討すること。
- 発生及び移動制限を受けた農場と取引のある関連事業者(運送業や卵選別包装施設など)における損失補填の財政措置を講じること。

【提案先省庁：財務省、農林水産省】

3 安心・安全な暮らしづくり (8) 高病原性鳥インフルエンザ対策

現状/広島県の取組

【1 発生予防】

- 毎年度100羽以上を飼養する養鶏農場への立入を行い、野鳥の侵入防止対策や消毒の徹底等の飼養衛生管理基準の遵守指導を実施。また、100羽未満飼養の小規模の飼養者に対しても県ホームページ等を通じ発生予防の注意喚起に努めている。

【2 迅速な防疫措置】

- 鳥インフルエンザが発生した場合、防疫措置の早期終了と作業に係る動員者数を勘案し本県では埋却による防疫措置を実施している。
本県では4年連続、高病原性鳥インフルエンザが発生しており、国の指針に基づいて防疫措置を行っている。

【3 財政支援】

- 令和4年度まん延防止対策及び畜産経営体支援(損失補てん)対策として、3,640百万円(内訳 国庫1,725百万円、県費1,915百万円)の補正予算を措置した。

≪国1/2・県1/2≫

消毒ポイント運営、埋却業務、殺処分等の人件費、焼却・埋却経費、移動制限に係る損失補てん金

ペール缶、フレコンバック等の防疫資材費 等

≪補助対象外(県10/10)≫

中継基地運営費(全額)、家畜防疫員以外の旅費、暖房器具賃借料及び燃料費等の資機材

課題

【1 発生予防】

- 高病原性鳥インフルエンザが発生した農場における様々な感染経路があると考えられることから、科学的根拠に基づく原因究明や有効な対策を確立し、発生予防対策の強化を図ることが重要である。

【2 迅速な防疫措置】

- 過去に鳥インフルエンザが発生した農場では、埋却場所の確保が困難である。

【3 財政支援】

- 家畜伝染病が大規模に発生した場合、現在の補助率や補助対象品目では、都道府県における財政負担が重い。
- 高病原性鳥インフルエンザの発生により、大型養鶏場は経済に与える影響が大きい。さらに、発生及び移動制限を受けた農場と取引のある関連事業者は、経営への影響が大きい。